

上川中部地域リハビリテーション広域支援センター

活動の目標

1：長期目標

急性期から回復期、慢性期、維持期まで切れ目ない情報伝達等の流れがスムーズに行われること

2：中期目標（5年計画）

対象者に関する一貫した情報の流れ（在宅、維持期が必要な情報の整理）についてのシステム構築のための基礎作りをする

維持期や在宅生活を支える介護職員の意識・技術の向上

急性期から在宅生活までを支える関係者間の連携体制が整備される

3：短期目標（1～3年計画）

地域の情報収集及び地域課題を抽出するために地域懇談会を開催する

地域連携パスについての情報収集をする

寝たきりにさせない意識と技術向上のため、研修会を開催する

活動の現状と内容

<現状>

1：各職能団体からの会費により下記の活動を行っている

2：活動の主体は作業部会（流れづくり検討部会）となっている

3：事業の理念や目的は、地域に浸透してきている

<内容>

1：理事会（年1回）

2：総会（年1回）

3：作業部会（月1回程度）

4：研修会（年1回）

5：講師派遣（年2回）

6：相談支援（年1回）

7：会報の発行（年2回）

8：地域懇談会（年1回）

9：その他（リハビリテーション手帳の検討、協力病院アンケート調査、代表者会議出席等）

活動の問題点

1：活動に参加する際の負担感が軽減できない

2：活動を継続するには、協力病院との体制を検討する必要がある